

自然と文化科 活動記録 (班別活動)

日時	2024年11月22日(金) 10:00~15:00(晴れ)	担当者
場所	1班 京都府立植物園観察会・昼食会 2班 大和葛城山自然観察ハイク 3班 武田尾・桜の園観察会 4班 万博日本庭園観察・民族学博物館見学	文・写真 大石博司
備考	参加者数 1班 18名、2班 13名、3班 14名、4班 12名、 合計 57名	

以下、4班の万博記念公園・日本庭園植物観察と国立民族学博物館見学の活動記録。参加者は12名。午前はほぼ晴れ、気温も高く暖かい日差しの中、種子・果実を中心に観察。昼食は民族学博物館のレストランで暖かい料理を楽しみ、その後は博物館の多種多様な展示物を見学。

1) 植物観察；10時~12時

・10時に中央口から日本庭園に移動し、途中で当日の案内役の福島さんから早速、サクラ並木やバラ園で説明。(ハナノキの葉、キョウチクトウ(写真①)の果実など)

・10時30分に日本庭園に入る。鮮やかに紅葉したトウカエデ(写真②)がお出迎え。右まわりに移動し観察。

・果実を観察した種名；クチナシ、ハナズオウ、モッコク、シラン、シャリンバイ、コクチナシ(写真③)、ザクロ(写真④)、ハス、ネムノキ、サンシュユ(写真⑤)、ハゼノキ、サルスベリ、ボケ(花も)、イヌマキ、モチノキ、コデマリ、ウツギ、クロガネモチなど

・その他；ヒイラギモクセイ、タブノキ(芽)、シダレエゴノキ(この時期に花)、レンギョウ、タイサンボク、ヒイラギ(花)、ラカンマキ、ツワブキ(写真⑥)、コブシ(芽)、サザンカ、ツバキなど



2) 昼食(12時10分~) 博物館内のレストラン

3) 国立民族学博物館((みんぱく)(写真⑦⑧) 13時~15時

・1974年(昭和49年)に創設、民族学・文化人類学の研究・展示を行う。民族学；世界の諸民族の文化や社会を研究する学問。文化人類学；人間の生活様式全体(生活や活動)の具体的なありかたを研究する人類学の一分野。初代館長は梅棹忠夫で来年4月から7代目としてアンデス考古学者の関雄二さんが就任予定。(BSの番組によく登場されています)

・博物館2階全フロアに世界各地の展示物が配置、オセアニアから始まりアフリカ、アジアなど世界一周し最後に日本にたどり着く。生活用具を中心に膨大な展示物、2時間掛けてもすべては見切れなかった。

・記録者が印象に残った展示物；アステカ暦石(メキシコ；写真⑨)モアイ像(イースター島；写真⑩)、お祭り衣装(スイス・チロル地方；写真⑪)、仁王像(熊本・写真⑫お祭り用のスギの葉などを使った作りもの)など、あまりにも多くて・・・

